

平成30年度一般会計補正予算(第3号) | 全員賛成で可決

公民館等の改修で新しい文化施設はどんなもの

文化施設整備事業

補正額：1450万9千円

新しい文化施設の整備が、上福岡公民館などの改修から始まっていきます。

文化振興審議会から基本構想等の答申は出されているか。

11月19日に文化施設の基本構想の中間答申があった。今後の基本計画ではホールの規模、公民館の機能など、計画的に進めていく。ワークショップ等を順次実行しながら進めたい。

公民館で活動している方の意見を聴取するのに、いろいろな場が必要では。

公民館の利用団体の代表者、社会教育委員、公民館運営審議会等、さらに利用団体などに説明をし、意見聴取はしっかりと進めている。今後は代替施設についても説明していく。

教育委員会の所管である公民館の改修を市長部局で行うのか。

公民館事業はもとより、それ以外に文化芸術基本法や生涯学習振興法等のさまざまな事業展開をできる文化施設を建設する予定であり、総合的な施設として文化・スポーツ振興課で予算計上をした。

救急医療をあんしんサポート

在宅高齢者福祉事業

補正額：100万2千円

単身高齢者の医療情報や緊急連絡先を把握する台帳整備の費用が増額補正されました。

増額補正の内容と主な理由は、

高齢者の医療情報や緊急連絡先等

対象者や人数は、対象になるのは、75歳以上のひとり暮らしの高齢者である。配付は4000人程度だが、転出や施設入居など、実数は3500人程度と考えている。

返信された調査票のデータをあんしん台帳へ電子入力しギョットの保管用として対象



救急医療情報キット

引き続き、待機者ゼロの継続を

放課後児童クラブ整備事業

補正額：331万円

上野台放課後児童クラブの利用者の増加に伴い、施設を増設するための測量や設計に関する予算が計上されました。

増設される上野台放課後児童クラブの構造や施設規模は、

上野台小学校の児童数が増加したことに伴い、狭隘化した施設の解消を図り、市の放課後児童クラブの待機児童ゼロを継続するために整備する。

施設の概要は、木造2階建て、予定延べ床面積は約230㎡、施設定員は2支援単位80名の計画で、予定敷地面積は



上野台放課後児童クラブ

条例改正
賛成多数で可決

新たなスポーツゾーンの整備

都市公園条例の一部改正

運動公園プール跡地の仮設駐車場を閉鎖、新たにフットサルコート2面が整備されオープンします。

フットサルコートの規模は日本公式基準である。夜間照明を整備すれば稼働率が上がるのでは。

国際サッカー連盟(FIFA)発行のフットサル競技規則の寸法を確保している。

稼働率ほどの程度を見込んでいるか。

現在、フットサルが利用できる多目的グラウンドの稼働率が33%であることから、30%前後と考えている。平日昼間は利用者が少ないこと



整備中のフットサルコート

指定管理者の指定
全員賛成で可決

期待される介護予防の拠点に
ふさわしく

市立介護予防センター 指定管理者の指定

新たに設置される介護予防センターの指定管理者を選定した経緯について審議が行われ、市の考え方などを確認しました。

選定に当たってどのような活動が評価されたか。

ボランティアの養成マッチングシステムの運用実績、また自主グループづくりに重点を置いた提案の評価が高かったと考える。

ボランティアの育成、スキルアップへの取り組みを確認したのか。

ボランティアは介護予防、栄養改善、健康づくりが主だが、選定された法人ではさまざまな教室を開催し、その卒業生等を自主グループ化している実績がある。そうした自主グループがそれぞれの地域に出て介

介護予防を広める拠点となり得ると考えている。

お出かけサポートタクシーの共通乗降場や市内循環ワゴンの停留所などの設置は、

高齢者あんしん相談センター併設のため、既に共通乗降場となっている。市内循環ワゴンについては路線の見直し等の際に議論を進めていきたい。

当面の業務量、利用の数をどの程度と想定しているか。

各教室、事業等は週3回あるいは4回程度、ふじみんぴんしゃん体操等の普及

啓発は毎日行う予定である。機能訓練室は40人から50人程度、各種教室については定員30人から50人程度を見込んでいる。



体操で元気な体に